

# VOICES from the ARCTIC

Vol.31 / 2023.10.24

ArCS II 国際政治課題  
北極域実践コミュニティ事務局



## ウクライナ戦争で露の石油が ベーリング海峡を通過する光 景を神経質に見守るアラスカ

ウクライナでの戦争が、ベーリング海峡を通る中国へのロシア産石油の輸送を急増させている。この輸送が、アメリカ側の孤立した村や住民の魚や野生動物の収穫を脅かしているという新たな警告を促している。

記事参照：Alaska watches, nervously, as Ukraine war pushes more Russian oil through Bering Strait - ArcticToday (2023.9.4/ARCTIC TODAY)



The Indigenous village of Diomedes sits in the middle of the Bering Strait, on the American side. (U.S. Coast Guard/Richard Brahm)

## 米が露の北極圏に打撃： 新たな制裁措置はLNGと鉱業 に照準

アメリカ財務省は、制裁リストにロシアの個人と企業を大幅に追加した。これは、ロシアの北極圏で液化天然ガスや新規鉱山を開発する開発者にとっての問題である。

記事参照：Americans attack Russian Arctic: new sanctions take aim at LNG and mining - ArcticToday (2023.9.18/ARCTIC TODAY)



Vladimir Putin visited Novatek's new yard in Belokamenka in July this year. The LNG yard located near Murmansk will soon face troubles caused by new U.S. sanctions. Photo: Kremlin.ru

## 「北極評議会の作業再開への道筋を拓く」ノルウェー北極大使



今年議長国に就任したノルウェーは、北極評議会の活動を継続するための道筋を見出すことを主な目標とすることを表明した。北極評議会には6つの作業部会があり、それぞれ緊急事態への備えから持続可能な開発、北極圏の汚染物質に至るまで、特定の北方問題に取り組む専門家で構成されている。高級北極実務者会合の議長であるHøglund氏によると、8月29日に開催された各国および先住民グループとの会合では、作業部会を再開するためのガイドラインが決定された。

記事参照：Arctic Council charting way forward to resume work says Norwegian SAO - ArcticToday (2023.9.7/ARCTIC TODAY)



*"Our primary focus of these first months was on finding a way forward that would allow the Working Groups to resume their important work," says Morten Høglund, Chair of the Senior Arctic Officials. Photo: Thomas Nilsen*

## ロシアが初めて北極圏に耐氷措置を施さない石油タンカーを投入



ロシアが北極圏に初めて氷を使用しないアフラマックス型石油タンカーを投入した。西側諸国の制裁に阻まれ絶望的なロシアは、これまで以上に大量の原油を中国に流すため、船舶の耐氷措置に関する長年の慣行を見送ることにした、と専門家は言う。これまで石油の輸送は、耐氷措置が施された船でしか行われていなかった。レオニード・ロザは、NSRを横断しようとする初の通常型石油タンカーである。

記事参照：Russia Sends Oil Tanker Without Ice Protection Through Arctic For First Time - ArcticToday (2023.9.12/ARCTIC TODAY)

## バイデン、アラスカ北極圏の数百万エーカーでの石油掘削を阻止へ

バイデン大統領は水曜日、アラスカ州ノース・スロープの広大な地域での石油掘削の阻止に動き、開発を制限し、トランプ大統領の下で認められた象徴的な北極国立野生動物保護区の賃貸契約を解除することを提案した。バイデン政権は、アラスカ州の国立石油備蓄地域の1,060万エーカーでの石油・ガス開発を永久に禁止する計画を立てている。

記事参照：バイデン、アラスカ北極圏の数百万エーカーでの石油掘削を阻止へ (classicnews.jp) (2023.9.6/Classicnews)

## ラップランドの急速な温暖化 生活と自然が危機に瀕する



フィンランド環境研究所 (Syke) は水曜日、ラップランドの年間平均気温が1世代以内に急激に上昇し、自然や地域の生活に劇的な影響を及ぼす可能性があるとして警告した。温室効果ガスの増加に歯止めがかからなければ、ラップランドの気温は産業革命以前と比べて今後50年間で7度近く上昇する可能性がある。

記事参照：Livelihoods and nature at risk as Lapland warms quickly, irrevocably - ArcticToday (2023.9.29/ARCTIC TODA)

## カナダ・オイルサンドの炭素 回収プロジェクト、主要契約 の獲得に苦戦

カナダは、アルバータ州のオイルサンドからの排出量削減に不可欠なインセンティブを打ち出そうとしているが、大規模な炭素回収・貯留 (CCS) プロジェクトのための重要なツールの整備に苦慮している、と最大手ベンチャー企業の代表が語った。政府系ファンドは、カナダの6大石油・ガス生産会社で構成されるパスウェイズ・アライアンスに対し、彼らのプロジェクトは規模が大きくリスクが高すぎるため、将来の炭素クレジット価格を固定する手段である差金決済契約には適さないと述べたと、同代表はロイターに語った。

記事参照：Canada oil sands carbon capture project struggles to get key contract - ArcticToday (2023.9.5/ARCTIC TODAY)

## グリーンランド氷床下のメタンガスが気候温暖化を促進すると科学者たちが警告 氷床を調査するユニークなプロジェクトは、この危険の規模を明らかにすることを期待



地球の気候システムにとって、今年も例外的な年となった。記録的な洪水、山火事、熱波、海氷の減少が世界的な見出しを飾らない週はなかったように思える。しかし、気候危機に関する議論は、二酸化炭素 (CO2) 排出の問題を中心に展開されることが多いが、将来の温暖化を抑える鍵として多くの人々が注目しているのはメタン (CH4) である。この強力な温室効果ガスは、20年間でCO2の84倍もの温暖化をもたらす可能性があり、現在の地球温度上昇の約30%を引き起こしている。

記事参照：Methane beneath the Greenland ice sheet to intensify climate warming, scientists warn. A unique project to access the ice-sheet bed hopes to expose the scale of the danger. - ArcticToday (2023.9.20/ARCTIC TODAY)



Sediments emerging from beneath the crevassed margin of the Isunguata Sermia glacier, Greenland. Photo: Henry Patton

